

令和 6 年度における会議運営について

1 アンケート結果の概要について

会議運営の参考にさせていただくため、第 3 回会議終了後にアンケート調査を実施したところ、結果（概要）は以下のとおりでした。（詳細は別紙のとおり）

①会議時間	「長い」が半数以上
②説明時間	「ちょうど良い」「長い」が概ね半々
③意見交換時間 ④質疑応答時間	「ちょうど良い」が半数以上
⑤評価項目数	「ちょうど良い」「多い」が概ね半々
⑥開催形式	「グループ形式」

⇒ 意見交換と質疑応答の時間を確保しながら、1 回あたりの会議時間を短縮することが目標です。

そのため、1 回あたりの評価項目数を再検討し、**基本計画部分**の説明・質疑応答を中心とした時間配分に見直しを行います。

2 令和 6 年度の評価に係る会議について

- (1) 開催時期 6 月下旬～7 月中旬
- (2) 開催回数 3 回（1 回あたり 2 時間程度）
- (3) 開催形式 グループ形式
- (4) 評価項目

1 サイクルの目安時間 30 分程度
 (内訳) 担当課の説明 : 12 分程度 (4 分×2～3 節)
 グループトーク : 6 分程度
 質疑応答 : 8 分程度

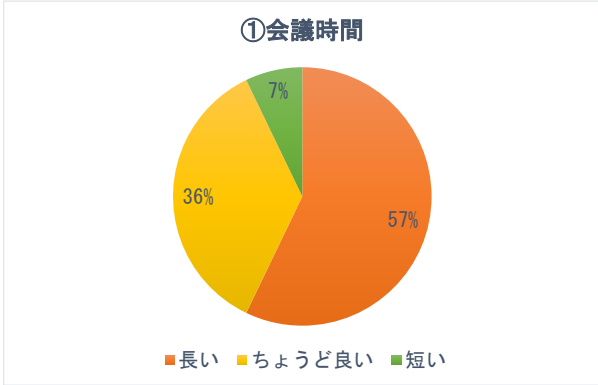
回	令和 5 年度	サイクル	令和 6 年度	サイクル
第 1 回	第 1 章 (6 節)	5	第 1 章 (6 節)	3
	第 2 章 (3 節)		第 2 章 (3 節)	
	第 3 章 (2 節)			
第 2 回	第 3 章 (3 節)	5	第 3 章 (5 節)	4
	第 4 章 (6 節)		第 4 章 (6 節)	
	第 5 章 (6 節)			
第 3 回	第 6 章 (2 節)	5	第 5 章 (6 節)	4
	復興創生 (2 対応方針)		復興創生 (1 対応方針)	
	地方創生 (5 対応方針)		地方創生 (5 対応方針) ※	
	交付金 (4 事業)		交付金 (3 事業) ※	

※ 再掲の指標については、重複するため説明を省略する。

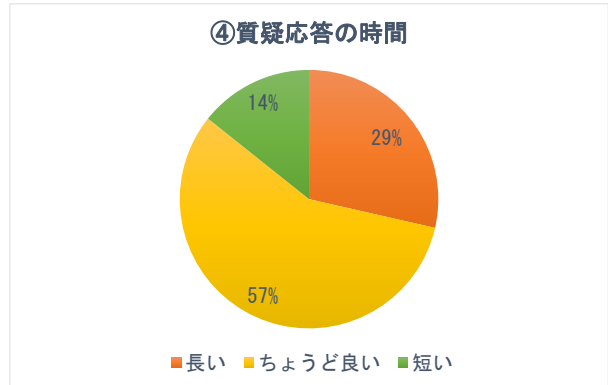
基本計画部分

令和5年度石巻市総合計画推進会議 アンケート結果

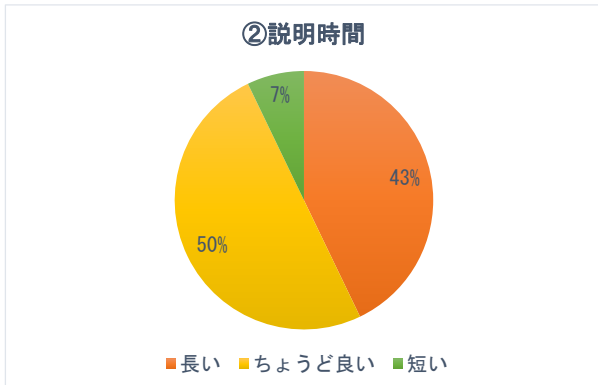
	長い	ちょうど良い	短い
①会議時間	8	5	1



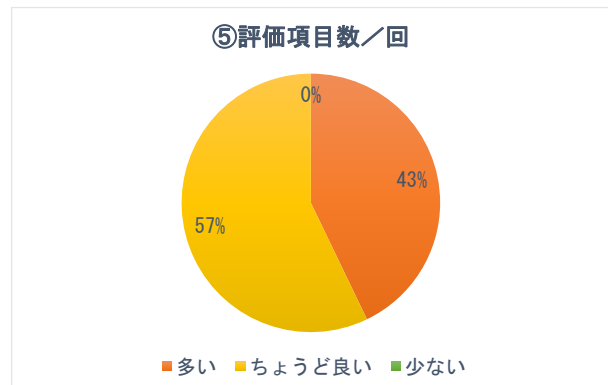
	長い	ちょうど良い	短い
④質疑応答の時間	4	8	2



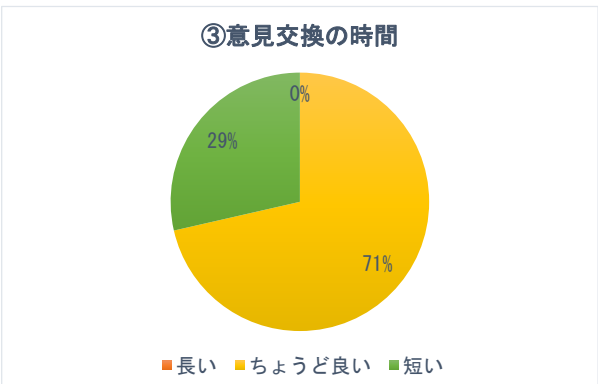
	長い	ちょうど良い	短い
②説明時間	6	7	1



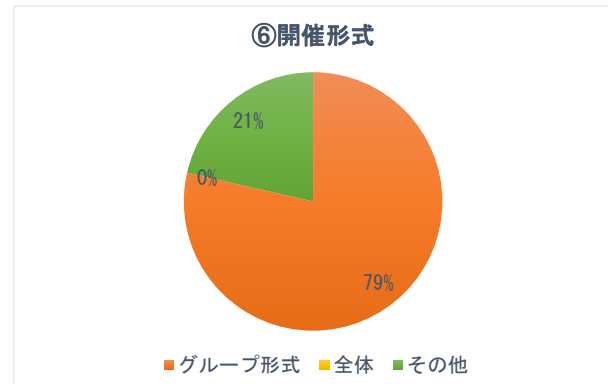
	多い	ちょうど良い	少ない
⑤評価項目数/回	6	8	0



	長い	ちょうど良い	短い
③意見交換の時間	0	10	4



	グループ形式	全体	その他
⑥開催形式	11	0	3



	開催形式 (その他)	その他意見
1		時間は長いと思いますが、市の大事な計画ですので、仕方ないかなと思います。事務局の皆さまもお疲れ様です。
2		担当者の説明が自信がない様に見えた時がありました。もっと自信を持って良いのではないのでしょうか？その上で聞くべきことを真摯に受け止めれば良いと思います。
3		今回の会議は「事業の進捗を確認するとともに進捗が芳しくない箇所について意見をもらうこと」が主眼だったと思いますが、 実際は個人個人の「想い」や要望等も多かった と思います。会長が都度捌ければ良いと思いますが、なかなか難しいこともあるので、 事務局が方向性を修正しても良い と思います。また資料をもう少し簡素化して（数値＋ポイントを箇条書き程度）、 担当課説明も「進捗が芳しくない箇所」に絞る 等してもよいと思います。委員が意見する時間が重要かと思っております。
4		会議の立ち位置の再確認が必要かなと感じる。求められているものと、委員の考えに隔たりがあるように思う。KGI及びKPIの内部評価が妥当か審議する会議だが、KGIはともかく、 KPIが妥当か疑問が残るものも散見 され、それをそのまま審議するには歪みが生まれる。会議そのものの存在意義が危ぶまれる。
5		<ul style="list-style-type: none"> ・毎回違うメンバーでのグループ形式の開催、意見や質問を話しやすいし、各方面で活動されている方々と知り合うことができ良い刺激になります。 ・もっとまちづくりについて話し合ってみたいです。
6		<ul style="list-style-type: none"> ・説明時間が限られている為、担当者説明が早口となり聞き取りにくかったりした。 ・グループとしての総意として質問項目を共有するより個人の意見となる箇所が多かったように思える。 ・グループ形式での会議で良いと思いますが、グループ内討議の時間を長くとってもらえたら良いと感じました。
7		開催の形式としては、より多くの委員から発言があったので良かったと思う。あとは、その発言を主催側がどう扱うかだと思う。 開催の回数をもう1回増やせば尚ベスト かと思った。
8		数多くの項目を審議しなければならないので、庄子会長さん苦勞されたと思います。今後もよろしくお願いします。（担当課の方々もご苦勞様でした。）
9		<ul style="list-style-type: none"> ・資料が分かりにくい。 ・担当課の説明は、資料を読むだけではなく、ポイントを挙げて説明していただけるとありがたい（分かりやすい）。
10	どちらでも	
11		<ul style="list-style-type: none"> ・最長3時間（休けい15分含め）まで ・テーマが細かすぎる。大項目で検討すべき。 ・担当課のみでは長期展望にならない（自己完結型では発展しない）。協力部署、協力事項を記入させ評価の対象とすべし。 ・企業では全体最適のための部分最適としており、KGIのためのKPIの精神を評価者は共有すべきもの。
12	グループと全体の併用が良い	施策の概念規定を求める質問・意見が多い。その中身がよくわからないのでその辺に時間がとられすぎと思う。 もう少しわかり易い資料 があればそんなに長くないのでは。
13	グループ形式だと多くの意見が出されますが、2時間以内に修了するよう工夫する必要があります。	①「主な取組や成果」欄は軽重を付けて、箇条書きにすると分かりやすい。 ②現評価シートは各課事業評価の統一性が図られ、改正されている。しかし、膨大な資料なので委員が短時間の説明で全部を理解するのは困難である。従って、 現評価シートは参考資料とし、委員説明用資料を1ペーパーで作成 すると分かりやすくなる（各課の負担になるようであるが、そのことによって事業実態が明確になり、全体の事業を共有できるようになる）。
14		グループ討議の時間が短く、議論の深まりがない。予算の関係もあるが もう一日、会議の時間を取り 、議論を深めたい。